あきたのりょういかちと

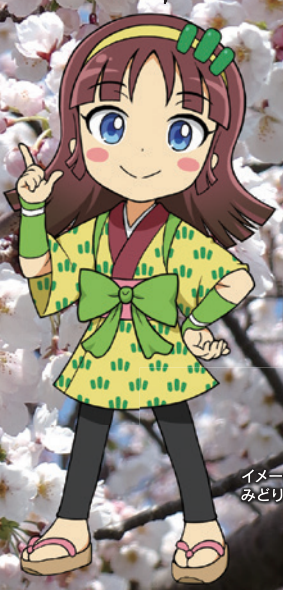
VOL.510
2020.4.24

「春陽」

新年度がスタートして早一ヶ月が過ぎようとしております。表紙の写真は、秋田市内でお天気の良い日に撮影した「桜」の写真です。昨年末から続く新型コロナウイルスの影響により、例年のようなお花見は出来ませんでしたが、少しでも皆様の気持ちがこの写真の晴れた日のように温かくなればいいなと思います。

今、様々な面で日本全体が大変な状況ですが、今年度も会報誌を通じて、より良い情報や写真をご提供出来るよう努めて参りますのでよろしくお願い致します。

撮影者／広報・渉外班
寺澤　藍



イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1 新年度あいさつ（髙貝会長）
CONTENT 2 水土里ネット秋田　役員の紹介

会長挨拶

秋田県土地改良事業団体連合会
（水土里ネット秋田）
会長
髙貝　久遠

風に舞う花吹雪が目にも眩しく、桜の樹も若葉を揺する好季節となりました。

会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より農業農村整備事業の推進に御尽力いただくとともに、本会の業務運営に特段の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第62回通常総会においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面議決のお願いや表彰式の中止など、会員をはじめ関係者各位には多大なる御迷惑をお掛けしましたが、皆様の御理解と御協力により無事総会を終了することができましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

さて、国では、この3月に新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、農業の持続的な発展に関する施策のひとつとして、「農業の成長産業化や国土強靭化に資する農業生産基盤整備」を推進するとしています。

県ではこうした動きの中、いち早く「あきた型ほ場整備」を展開し、複合型生産構造への転換を重点的に進めているところであり、本会も微力ながら、その推進の一翼を担うべく、引き続き全力で業務に取り組んで参ります。

一方、県内では人口減少や高齢化を背景とした農業生産現場の労働力不足が深刻化しているほか、防災重点ため池などの農業水利施設の長寿命化や防災・減災対策も急務となっております。

このため本会では、ＩＣＴによる水管理の省力化等の先端技術の情報提供やハザードマップの作成など、地域の実情や要望に対応したきめ細やかな支援の充実に努めて参ります。

また、こうした事業が計画的・安定的に実施できる農業農村整備予算の確保のために、本年度も水土里ネットの組織を挙げて、「闘う土地改良」のスローガンの下、積極的に要請活動を展開して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

さらに、土地改良区体制強化事業として、土地改良施設の資産評価、会計指導員による指導監査、ミラウド会計システムの導入促進など、新たな財務会計制度の円滑な運用について引き続き支援して参ります。

結びに、本県のさらなる農業農村の発展のため、役職員一同決意を新たに努力して参りますので、今後とも、なお一層の御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げるとともに、皆様の御健勝、御活躍を心から御祈念申し上げ、年度初めの挨拶といたします。

目次 CONTENTS

会長挨拶 2
水土里ネット秋田　役員の紹介 3
秋田県農林水産部新任挨拶 4
令和2年度秋田県関係機関の紹介 6
令和2年度土地改良関係課機構図（秋田県） 7
令和2年度農業農村整備事業予算の概要について 8
秋田県の農業農村整備事業予算（市町村別） 9
令和2年度事務局機構図及び職員配置 10
水土里ネット秋田新常勤役員の紹介 12
秋田県土地改良推進大会・第143回秋田県種苗交換会 12
おらほの自慢っこ～来てけれ！三種町～（三種町農林課：寺沢　梶人） 13
ようこそ土地改良区へ（秋田県西仙北土地改良区：佐藤　靖彦） 14
随想（三種町土地改良区：門間　亜希子） 15
連合会日誌 15
水土里レポーターによる写真投稿（飯田川土地改良区：川上　丈樹） 16
水土里のゴミゼロDAY告知 16
会員だより 16
リレー感想文（仁井田堰土地改良区：伊藤　清栄） 16
編集後記 16

水土里ネット秋田　役員の紹介

令和2年4月1日現在

◆会　長

髙　貝　久　遠

◎秋田県田沢疏水土地改良区
理事長
◎全国土地改良事業団体連合会
副会長理事

3月13日の第62回通常総会で役員の補欠選任が行われ、新たに理事1名が選任されました。
今年度の役員は次の通りです。
（任期：平成29年4月1日から令和3年3月31日まで）

◆副会長

田　口　信　一

◎かづの土地改良区
理事長

◆副会長

藤　井　弘　道

◎秋田県南旭川水系
土地改良区理事長

◆専務理事 新任(R2.4.1)

佐　藤　暢　芳

◎学識経験者

◆常務理事

金　森　正　広

◎学識経験者

◆理　事

市　川　雄　次

◎にかほ市長

◆理　事

南　都　武　男

◎昭和土地改良区
理事長

◆理　事

大　坂　芳　市

◎雄勝郡山田五ヶ村堰
土地改良区理事長

◆理　事

成　田　光　弘

◎北秋田市土地改良区
理事長

◆理　事

松　田　知　己

◎美郷町長

◆理　事

児　玉　　一

◎鹿角市長

◆理　事

三　浦　昭　夫

◎由利本荘市土地改良区
理事長

◆理　事

小　川　善　信

◎能代南土地改良区
理事長

◆総括監事

石　山　金　由

◎二ツ井町土地改良区
理事長

◆監　事

長　坂　一　二

◎秋田市上新城土地改良
区理事長

◆監　事

髙　田　清　茂

◎山城水系土地改良区
理事長

新任のご挨拶

秋田県農林水産部長

佐　藤　幸　盛

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃より農政の推進に、格段の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度は、高温・少雨による農作物への影響が心配されましたが、農家の皆様の御努力により、水稲は豊作となり、園芸品目についても全般的に生産量が伸びるなど、総じて作柄に恵まれた年でありました。

また、今年１月に公表された平成 30 年の農業産出額をみると、野菜や畜産など米以外の作目が過去 20 年間で最高額となるなど、複合型生産構造への転換に向けた取組が着実に実を結んできており、ほ場整備と農地中間管理機構による農地集積、園芸メガ団地等の園芸振興施策を三位一体で行う「あきた型ほ場整備」が、その原動力となっているところであります。

こうした中、農業を取り巻く情勢は、国際通商協定の発効等による産地間競争の激化や、人口減少を背景とした労働力不足が顕在化してきており、ＩＣＴ･ＡＩ等による技術革新も進展するなど、大きな転換期を迎えております。

このため、県では、「競争力の高い経営体の育成」や「複合型生産構造の転換」に向けた取組に加え、スマート農業の推進にも力を入れてまいります。

いま、社会・経済全般が新型コロナウイルスで深刻な影響を受けておりますが、県では、県内の影響を見極めながら、思い切った経済・雇用対策を講ずることにしており、農業分野においては、成長産業化への歩みを止めることがないよう、現場の実情を踏まえ、きめ細やかな施策を実施し、Ｖ字回復を図ってまいりたいと考えております。

その礎となるのは農業生産基盤整備であり、県としては、引き続き、積極的に推進してまいりますので、これまで以上の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、水土里ネット会員の皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、新任の御挨拶とさせていただきます。

秋田県農林水産部新任挨拶

農林水産部次長
中西　滋樹

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、4月の異動で農林水産省から参りました中西と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、県では、「米依存からの脱却」を掲げ、これまで、収益性の高い複合型生産構造への転換に向けて、園芸メガ団地の整備など各種施策を集中的に実施しておりますが、えだまめ、しいたけなどの生産拡大や、秋田牛のブランド化の進展等により、農業産出額の伸び率が全国トップクラスを維持するなど、成果が着実に現れてきております。

効率的で収益性の高い農業経営の実現に向けては、生産基盤の強化が不可欠であり、農地中間管理事業や高収益作物の産地づくりと一体で進める「あきた型ほ場整備」や、農業水利施設の整備・更新といった土地改良事業がその基盤を支えております。

御案内のとおり、国の令和2年度の農業農村整備事業関係予算は、国土強靱化緊急対策の臨時・特別措置分と令和元年度補正予算を合わせると6,515億円となり、前年度を上回る予算が確保されました。本県の令和2年度当初執行予算については、事業費ベースで319億円となり、4カ年連続で310億円台を確保しております。

これもひとえに、皆様方が現場の声を各方面に届けていただいた賜物であり、改めて感謝申し上げます。引き続き、現場のニーズを踏まえ、着実に事業を実施できるよう、会員の皆様や関係機関とも連携しながら、必要な予算確保等に努めてまいりますので、一層の御支援と御協力をお願いいたします。

農山村振興課長
阿部　浩樹

日頃より、水土里ネット会員の皆様におかれましては、農業施策とりわけ農業農村整備事業の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、人口減少が急激に進む本県にとって、基幹産業である農業、農山村地域を支える農業農村整備の役割は非常に重要であり、会員の皆様には地域の「担い手」「守り手」として御活躍いただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、農山村振興課はその名称のとおり、農山村地域の振興・活性化を図るべく、平成14年度に土地改良組織の改編により誕生し、今年で19年目を迎えました。

これまでも多くの諸先輩が、ほ場整備など農業農村整備事業の推進に加え、中山間地域における農業・地域振興、日本型直接支払制度を活用した農地・集落の維持発展に係わる施策を推進してまいりましたが、私も微力ながら農山村地域の諸課題の解決に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様の御力添えを賜りますよう、よろしくお願いします。

令和2年度 秋田県関係機関の紹介

秋田県は4月1日付けで、令和2年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次の通りになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・課長等の紹介(R2.4.1現在)

部　　長	佐藤　幸盛
森林技監	嶋田　　理
次　　長	中西　滋樹
次　　長	齋藤　正和
次　　長	伊藤　真人
次　　長	斎藤　俊明
課長待遇（秋田県土地改良事業団体連合会派遣）	長嶋　　満
課長待遇（秋田県農業会議派遣）	播磨　成人
課長待遇（秋田県林業公社派遣）	鎌田　　真
課長待遇（秋田県農業公社派遣）	佐々木幸樹
課長待遇（秋田県木材加工推進機構派遣）	土田　信次
農林政策課長	安藤　鷹乙
農林政策課政策監	本郷　正史
農林政策課スマート農業推進監	齊藤　英樹
農業経済課長	福田　正人
農業経済課販売戦略室長	草彅　郁雄
農山村振興課長	阿部　浩樹
農山村振興課政策監	大山　　泰
水田総合利用課長	藤村幸司朗
水田総合利用課秋田米ブランド推進室長	加賀谷由博
園芸振興課長	本藤　昌泰
畜産振興課長	畠山　英男
農地整備課長	舛谷　雅広
水産漁港課長	工藤　輝喜
林業木材産業課長	沼倉　直人
林業木材産業課政策監	清水　　譲
森林整備課長	戸部　信彦
農業研修センター所長	藤田　朋徳
農業試験場長	金　　和裕
果樹試験場長	佐藤　雄幸
畜産試験場長	小坂　純治
水産振興センター所長	阿部　喜孝
林業研究研修センター所長	鈴木　光宏
病害虫防除所長	松橋　正仁
花き種苗センター所長	林　　浩之
北部家畜保健衛生所長	小林　政樹
中央家畜保健衛生所長	熊谷　清孝
南部家畜保健衛生所長	木村　　衆

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

［鹿角地域振興局］
◇局長：岡崎　佳治　◇農林部長：長谷部　毅
農林部次長：瀬田川　守

［北秋田地域振興局］
◇局長：鶴田　嘉裕　◇農林部長：石川　　厚
農林部次長：辻　　久信

［山本地域振興局］
◇局長：菅原　　純　◇農林部長：山崎　　司
農林部次長：佐々木定勝

［秋田地域振興局］
◇局長：齋藤　　了　◇農林部長：渡部　　謙
農林部次長：藤井　吉人

［由利地域振興局］
◇局長：佐藤　廣道　◇農林部長：佐藤　尚志
農林部次長：川原谷　実

［仙北地域振興局］
◇局長：石川　　聡　◇農林部長：石井　公人
農林部次長：髙橋　一志

［平鹿地域振興局］
◇局長：髙野　尚紀　◇農林部長：進藤　　隆
農林部次長：柿崎　　寿

［雄勝地域振興局］
◇局長：杉山　　徹　◇農林部長：齋藤　辰嗣
農林部次長：須田　邦裕

【その他関係部署】

生活環境部	
八郎湖環境対策室長	村上　　旬
建設部	
技術管理課技術管理監	鈴木　慎一
出納局	
検査課技術管理監	柴橋　和彰

［各地域振興局農林部農村整備課長・所長及び班構成］

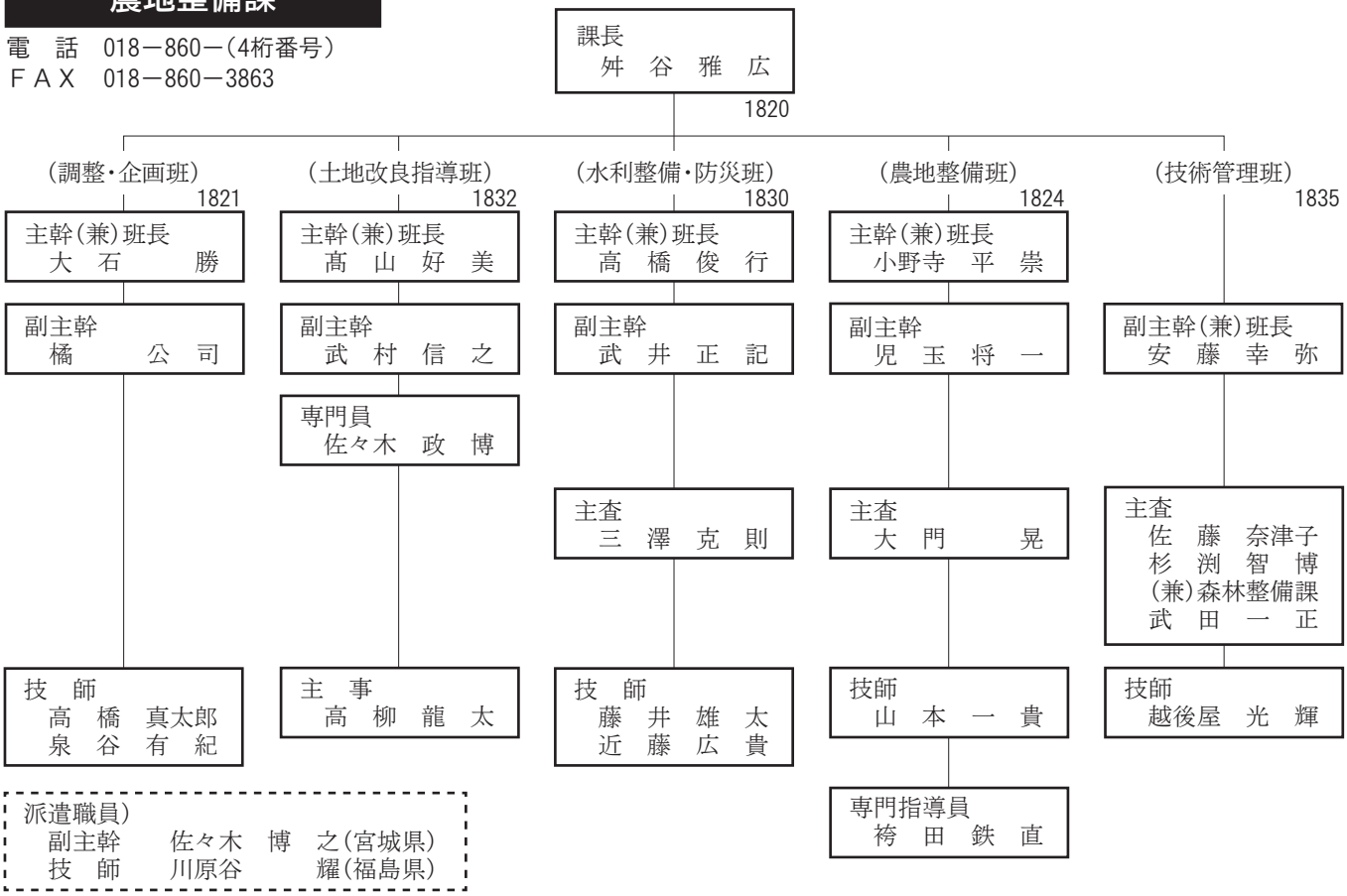
◇鹿　　角：佐藤　義隆
（ふる里づくり班・生産基盤班）
◇北 秋 田：髙橋　篤史
（管理班・ふる里づくり班・生産基盤班）
◇山　　本：石井　幸樹
（ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班）
◇秋　　田：今泉　　裕
（管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基盤第三班）
◇八郎潟基幹施設管理事務所：石川　久志
◇由　　利：福司　健治
（ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班）
◇仙　　北：池田　裕一
（管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基盤第三班・生産基盤第四班）
◇平　　鹿：門間　成人
（ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班）
◇雄　　勝：田口　　博
（ふる里づくり班・生産基盤班）

令和2年度　土地改良関係課機構図（秋田県）

（令和2年4月1日現在）

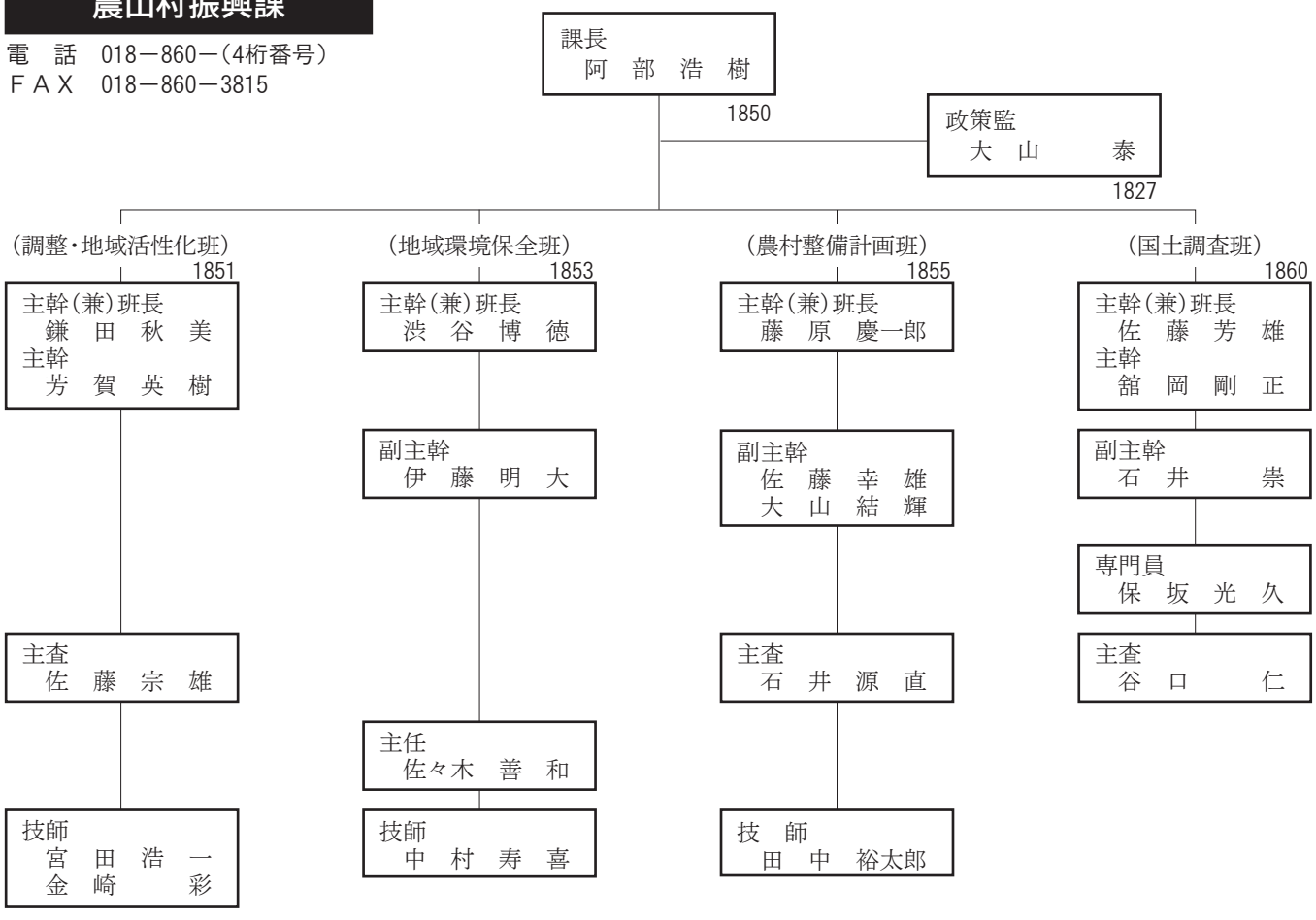
農地整備課

電　話　018－860－（4桁番号）
ＦＡＸ　018－860－3863



農山村振興課

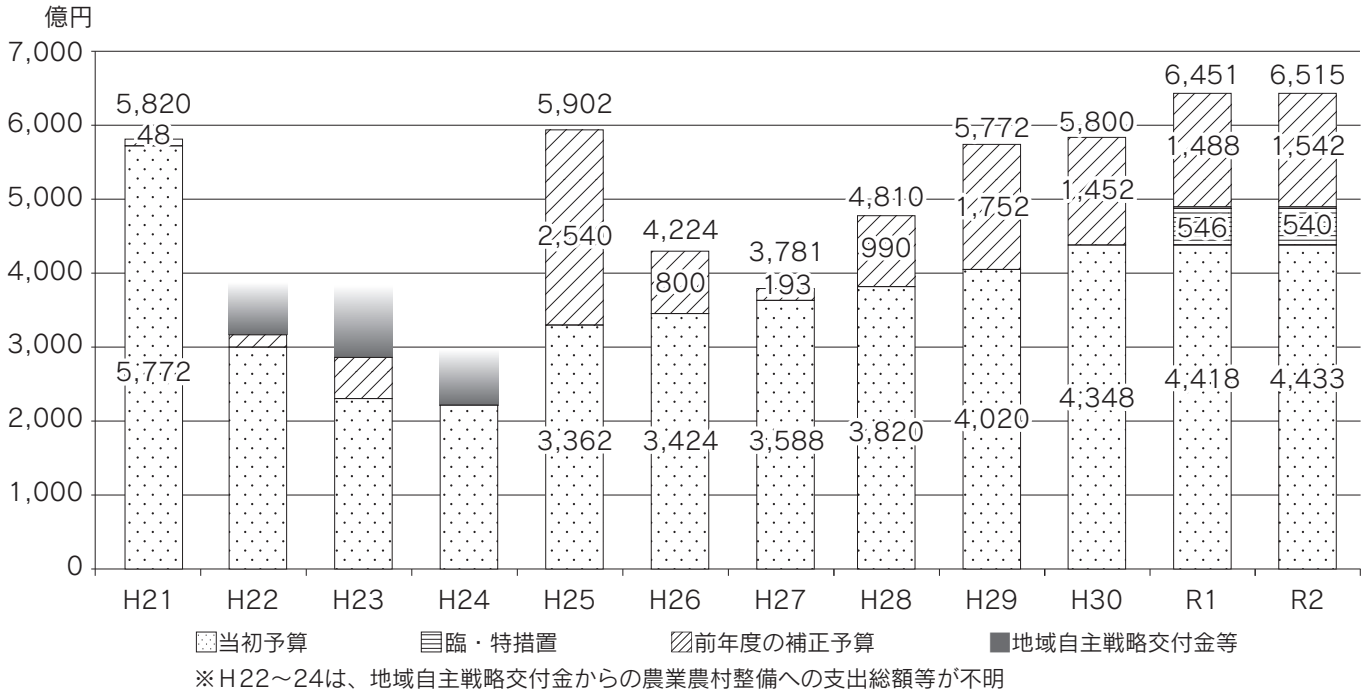
電　話　018－860－（4桁番号）
ＦＡＸ　018－860－3815



令和2年度農業農村整備事業予算の概要について

○　国の2年度当初執行予算（国費ベース）は、2年度当初予算に国土強靱化に係る緊急対策としての「臨時特別対策の措置」分と元年度補正予算を合わせると6,515億円（対前年度比101.0%）となり、前年度を上回る予算となっている。

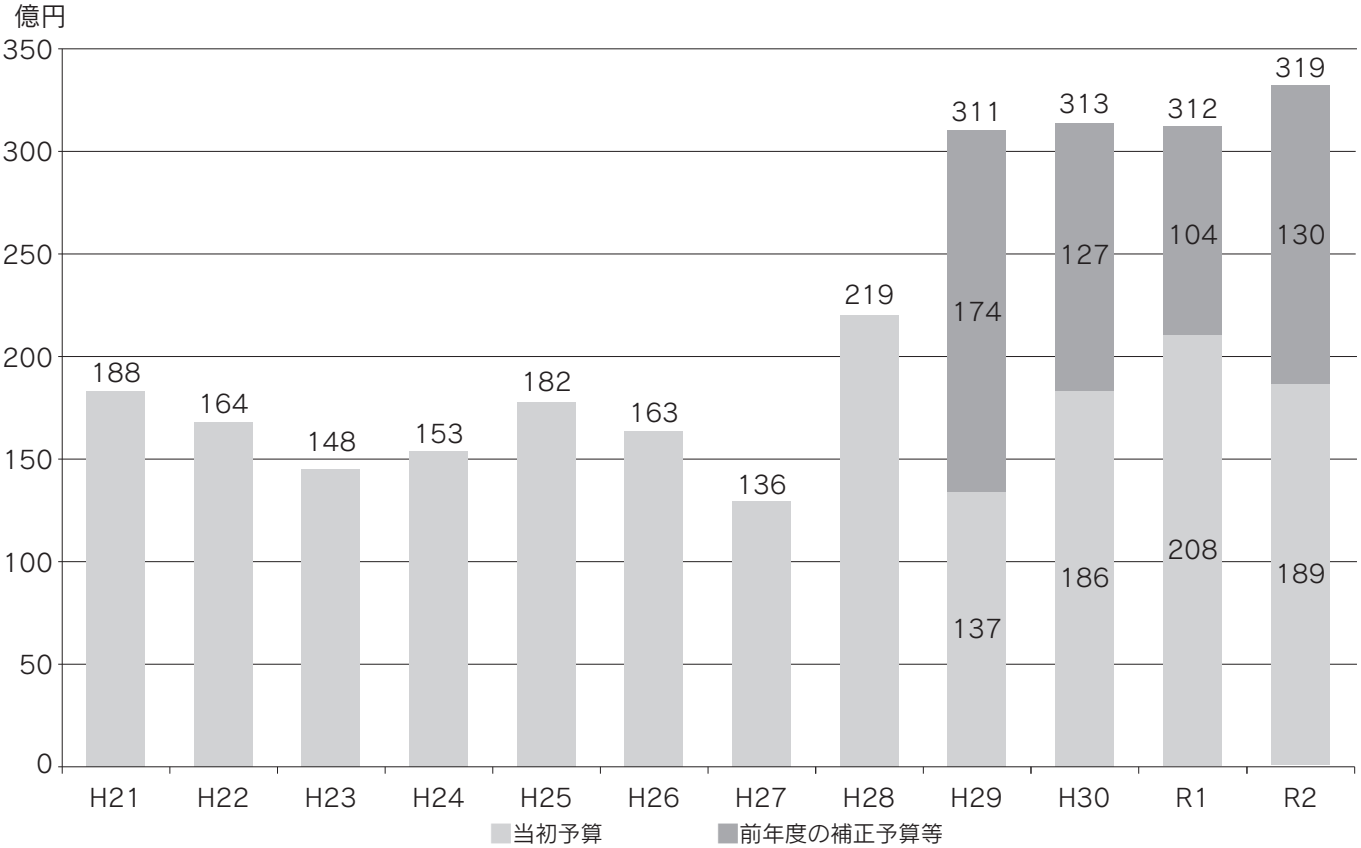
国の農業農村整備予算の推移（国費ベース）



※H22～24は、地域自主戦略交付金からの農業農村整備への支出総額等が不明

○　県の2年度当初執行予算（事業費ベース）は、2年度当初予算189億円に元年度補正予算130億円を加えると319億円となり、4カ年連続で310億円台の確保となっている。

秋田県の農業農村整備予算の推移（当初執行事業費ベース）



※H21～28は、年度執行予算の合計額

秋田県の農業農村整備事業予算（市町村別）

（令和元年度補正、令和２年度当初）

単位：百万円

管　内	市町村名	農地整備	かんがい排水	農地防災	合　計
鹿　角	鹿　角　市	358	16	123	497
	小　坂　町				
	管内計	358	16	123	497
北秋田	大　館　市	515		195	710
	北 秋 田 市	976		12	988
	上小阿仁村				
	管内計	1,491		207	1,698
山　本	能　代　市	2,364	21	100	2,485
	藤　里　町				
	三　種　町	75	25	440	540
	八　峰　町				
	管内計	2,439	47	540	3,025
秋　田	秋　田　市	4,131		323	4,454
	男　鹿　市	270	3	67	340
	潟　上　市		31	168	199
	五 城 目 町	693	10	220	923
	八 郎 潟 町	19	68	372	460
	井　川　町		3	79	82
	大　潟　村	686	49		735
	管内計	5,799	165	1,229	7,193
由　利	由利本荘市	272	75	501	848
	にかほ市	560			560
	管内計	832	75	501	1,408
仙　北	大　仙　市	3,497	1,233	404	5,133
	仙　北　市	1,550		45	1,595
	美　郷　町	2,275	230		2,505
	管　内　計	7,322	1,463	449	9,234
平　鹿	横　手　市	3,193	740	337	4,270
	管内計	3,193	740	337	4,270
雄　勝	湯　沢　市	435	248	106	789
	羽　後　町			159	159
	東 成 瀬 村				
	管内計	435	248	265	948
小　計		21,869	2,753	3,651	28,273
その他					3,636
合　計					31,909

※1　「農地整備」は、ほ場整備事業、戦略作物生産拡大基盤整備促進事業、基盤整備促進事業等
「かんがい排水」は、かんがい排水事業、基幹水利施設ストックマネジメント事業、小水力発電施設整備事業等
「農地防災」は、ため池等整備事業、地すべり対策事業、公害防除特別等
「その他」は、調査計画事業、ほ場整備促進費、八郎潟干拓基幹施設維持管理費、農用地等集団化、集落排水事業等

※2　受益地が複数の市町村に跨がる地区の予算は、受益地が最も一番大きい市町村に計上している。

※3　管内計の数値は、端数処理の関係で合わない場合もある。

令和２年度事務局機構図及び職員配置

（令和２年４月１日付発令）

本会では、4月1日付で令和2年度の人事異動を発令した。事務局体制は3部11班2センター室とし、2事務所（北・南）は総務企画部の管轄になっている。

令和2年度の事務局体制（機構図及び職員配置図）は次のとおり。

令和２年度　秋田県土地改良事業団体連合会事務局体制

電話 018-888-（4桁番号）　FAX 018-888-2834(代表)

専務理事　佐藤　暢芳　2711

常務理事　金森　正広　2716

協議会事務局

- 秋田県多面的機能支援協議会　2748
  （兼）　阿部　淳　主事　湯川のぞみ
  専門員　千葉　久雄　専門員　渡部　敏行
  専門員　長崎　強　主事補　八鍬　愛
- 秋田県水土里情報利用団体連絡協議会　2732
  （兼）　千田　忠平
- 秋田県農業水利施設活用小水力等発電推進協議会　2723
  （兼）　加藤　俊逸
- 秋田県農村災害支援協議会　2737
  （兼）　菊地　均

技術士事務所　2732
（兼）　千田　忠平

参事　佐藤　求　2726

総務・経理班　2714
主査　鶴田　卓也　主任　齊藤　翔
主事　大井　希珠　運転技師　斎藤　茂
主事補　井島めぐみ
(兼)班長　嵯峨　秀樹

広報・渉外班　2742
主任　南　聡洋　主事　寺澤　藍
専門員　鈴木　宏保
(兼)班長　阿部　淳

北事務所
(兼)所長　阿部　淳
0186-60-1500
FAX 0186-63-2299

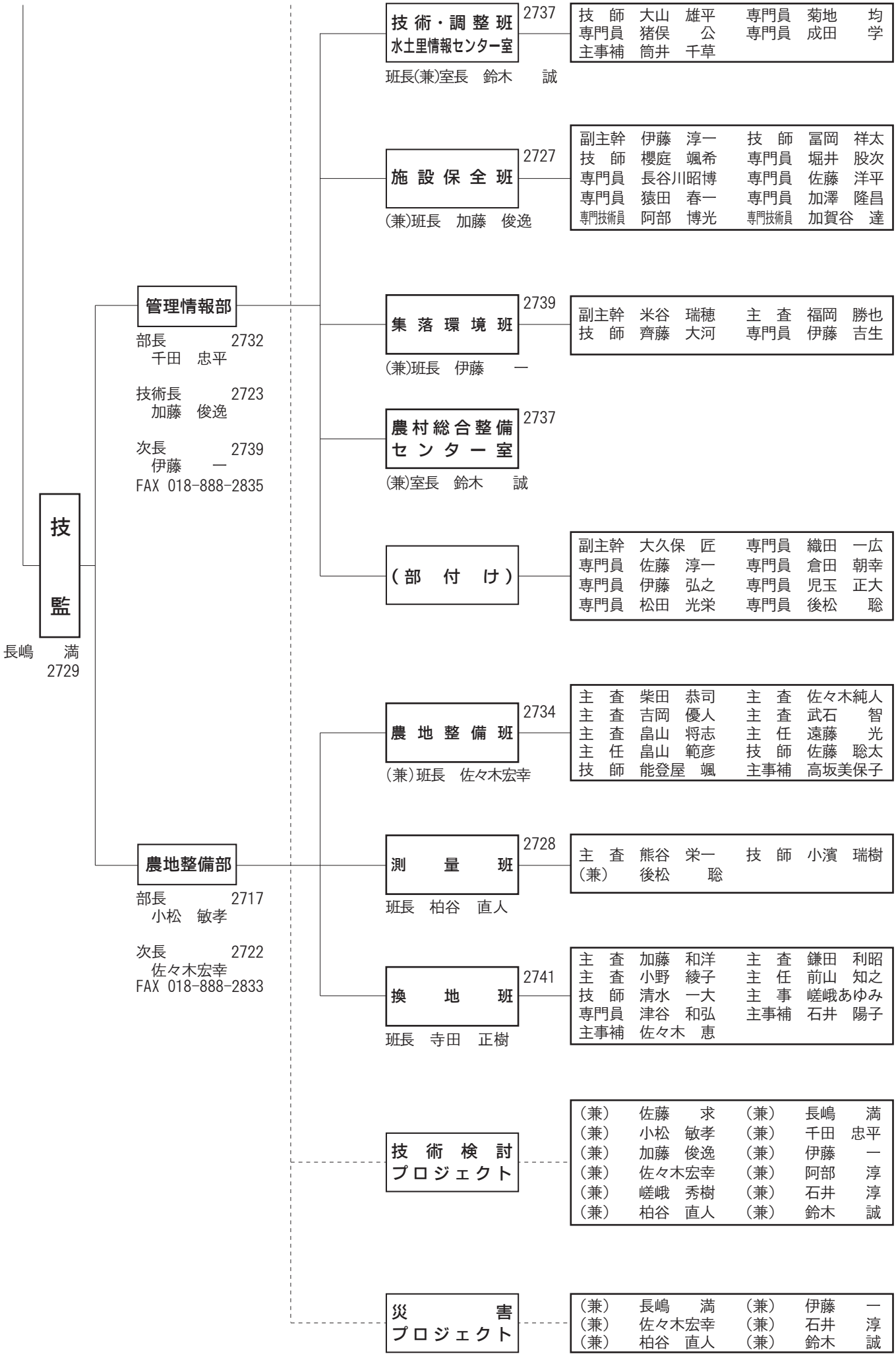
農村整備班　1501
主事補　照内　一恵
(兼)班長　阿部　淳

総務企画部
(兼)部長　2726　佐藤　求
次長　2742　阿部　淳
2714　嵯峨　秀樹
FAX 018-888-2834

南事務所
所長　石井　淳
0187-86-0211
FAX 0187-63-4757

農村整備班　0212
主査　細田　鉄也　主任　佐々木孝行
主任　富樫　佳直　技師　工藤　駿
専門員　鈴木　輝秋　専門員　照井　聡
主事補　永山　裕希　主事補　宮内　三江
(兼)班長　石井　淳

換地班　0214
副主幹　武藤　進　主査　田村　浩昭
主査　佐々木敦志　技師　畠山　祐太
専門員　髙山　敬吾　専門員　高橋　良三
主事補　茂木　澄子　主事補　武藤　直子
(兼)班長　寺田　正樹


技監
長嶋　満
2729
管理情報部
部長　2732
千田　忠平
技術長　2723
加藤　俊逸
次長　2739
伊藤　一
FAX 018-888-2835
農地整備部
部長　2717
小松　敏孝
次長　2722
佐々木宏幸
FAX 018-888-2833
技術・調整班
水土里情報センター室
2737
班長(兼)室長　鈴木　誠
技師　大山　雄平　専門員　菊地　均
専門員　猪俣　公　専門員　成田　学
主事補　筒井　千草
施設保全班
2727
(兼)班長　加藤　俊逸
副主幹　伊藤　淳一　技師　冨岡　祥太
技師　櫻庭　颯希　専門員　堀井　股次
専門員　長谷川昭博　専門員　佐藤　洋平
専門員　猿田　春一　専門員　加澤　隆昌
専門技術員　阿部　博光　専門技術員　加賀谷　達
集落環境班
2739
(兼)班長　伊藤　一
副主幹　米谷　瑞穂　主査　福岡　勝也
技師　齊藤　大河　専門員　伊藤　吉生
農村総合整備センター室
2737
(兼)室長　鈴木　誠
(部付け)
副主幹　大久保　匠　専門員　織田　一広
専門員　佐藤　淳一　専門員　倉田　朝幸
専門員　伊藤　弘之　専門員　児玉　正大
専門員　松田　光栄　専門員　後松　聡
農地整備班
2734
(兼)班長　佐々木宏幸
主査　柴田　恭司　主査　佐々木純人
主査　吉岡　優人　主査　武石　智
主査　畠山　将志　主任　遠藤　光
主任　畠山　範彦　技師　佐藤　聡太
技師　能登屋　颯　主事補　高坂美保子
測量班
2728
班長　柏谷　直人
主査　熊谷　栄一　技師　小濱　瑞樹
(兼)　後松　聡
換地班
2741
班長　寺田　正樹
主査　加藤　和洋　主査　鎌田　利昭
主査　小野　綾子　主任　前山　知之
技師　清水　一大　主事　嵯峨あゆみ
専門員　津谷　和弘　主事補　石井　陽子
主事補　佐々木　恵
技術検討プロジェクト
(兼)　佐藤　求　(兼)　長嶋　満
(兼)　小松　敏孝　(兼)　千田　忠平
(兼)　加藤　俊逸　(兼)　伊藤　一
(兼)　佐々木宏幸　(兼)　阿部　淳
(兼)　嵯峨　秀樹　(兼)　石井　淳
(兼)　柏谷　直人　(兼)　鈴木　誠
災害プロジェクト
(兼)　長嶋　満　(兼)　伊藤　一
(兼)　佐々木宏幸　(兼)　石井　淳
(兼)　柏谷　直人　(兼)　鈴木　誠

水土里ネット秋田　新常勤役員の紹介

4月1日付けで専務理事（常勤役員）として、佐藤暢芳氏（学識経験者）が就任されましたので紹介します。

経歴

昭和59年4月　秋田県庁採用（由利土地改良課）
平成28年4月　農地整備課長
平成29年4月　県農林水産部次長
平成31年4月　県仙北地域振興局長

生年月日（血液型）

昭和34年8月6日（B型）

ご挨拶

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。

私こと、土地改良技術者として秋田県庁に36年間勤務し、この3月に仙北地域振興局を最後に退職いたしましたが、この度、ご縁がありまして、第62回通常総会において員外理事として選任され、その後、専務理事に互選となり過日着任いたしました。

微力ではありますが、農業の発展および農村の振興のため、全力を尽くして参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

専務理事

佐　藤　暢　芳

令和2年度秋田県土地改良事業推進大会（開催予定）

日時：令和2年

10月30日（金）

午後1時00分

会場：横手市民会館

昨年の農業農村整備フェアの様子

第143回 秋田県種苗交換会

期間：令和2年

10月29日（木）▶11月4日（水）

内容　・各種パネル　・事業模型の展示　・土地改良相談コーナー
・カレンダー作成など

「農業農村整備フェア」を開催します！

農業の祭典『第143回秋田県種苗交換会』が10月29日（木）～11月4日（水）まで横手市を会場に開催されます。期間中水土里ネット秋田では農業農村整備事業のPRのため県内国営事業所、秋田県、秋田花まるっG・T推進協議会と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

おらほの自慢っこ
シリーズ 19

来てけれ！　三種町

三種町農林課
寺沢　梶人

森岳＆砂丘温泉

三種町には二つの温泉があり、その一つである森岳温泉郷は、長らくみちのく秋田の奥座敷として親しまれてきました。
泉質は、無色透明なナトリウム、カルシウム塩化物泉で湯冷めのしにくい「しょっぱい」温泉として人気が高く、特に美肌効果に優れていると評判を呼んでいます。
また、ナトリウム塩化強塩泉を泉質とする八竜砂丘温泉は、日本海に沈む夕日を満喫しながら入浴ができ、心も体もリフレッシュしてくれる憩いの場です。

じゅんさいの摘み採り体験

三種町は古くからじゅんさいの自生する池沼が多く存在し、白神山系からのミネラル豊富な水や、湧き出る地下水など、清らかで豊かな自然環境により、質の高い「じゅんさい」を生産しております。
５月から８月にはじゅんさいの摘み採り体験を行っており、小舟を操りながら手摘みを体験することができます。

石倉山公園・キャンプ場

石倉山公園はキャンプ場やバンガロー、遊歩道などを備えており、四季折々の自然とふれあえるアウトドアにはもってこいの自然公園です。
山頂からは世界遺産の白神山地や八郎湖の残存湖、男鹿半島の寒風山などを一望できます。日本海に沈む夕陽は一見の価値があります。

釜谷浜海水浴場（サンドクラフト）

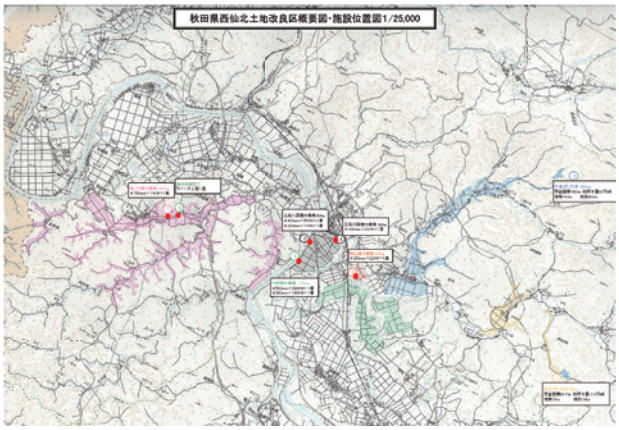
環境省認定「日本の快水浴場100選」に選ばれた釜谷浜海水浴場は、離岸堤のない自然のままの砂浜で、夕陽の素晴らしさから「サンセットビーチ釜谷浜」とも呼ばれ、若者から人気のスポットとなっています。
そして夏の一大イベント「サンドクラフト」は、毎年多くの個性あふれる砂像が展示され、見る人を魅了します。

伝説と信仰の山　房住山

房住山の山頂から東方に森吉山と奥羽山脈、西方には大潟村の広大な水田や男鹿半島、日本海を一望できます。
その昔、山岳信仰における修験道の聖地として名をはせたところであり、多くの伝説に彩られています。峰一円には当時を偲ばせる三十三観音像が点在しており、その穏やかで優しい顔は登山者にやすらぎを与えてくれます。

我が土地改良区

秋田県西仙北土地改良区
佐藤　靖彦



▲管内図

旧西仙北町、旧神岡町の一部からなる本土地改良区は、雄物川中流部を挟んで右岸東方の土買川流域および左岸西南の大沢川流域に広がる地域で約840haの受益面積を有しています。本土地改良区は、平成9年度に第1段階として4土地改良区が合併、平成17年度には旧西仙北東土地改良区（土川、大野、刈和野、駒込）と旧西仙北町大沢郷土地改良区の2土地改良区が合併し現在に至っています。

このような現状から、各施設の維持管理は旧土地改良区毎に行っています。管内の**「大滝沢ため池」**は、昭和27年に用水不足解消を目的に築造され、貯水量33万t、灌漑面積150haを有しています。また、文久年間に築造された**「明光沢ため池」**は、12.3万tを56haに灌漑しています。

さらに、**大沢郷地域**は沢部のため**「多数の小規模なため池」**が存在する中山間地域でもあります。

また、**「大野揚水機」**は昭和44年～52年の県営農用地開発事業により高台に造成された地域で、雄物川右岸より水中ポンプ（330kw500mm×1・180kw300㎜×1）により175haに灌漑しています。同じく雄物川右岸より取水する**「三条川原揚水機」**（113kw300㎜×2・200㎜×1）は大正14年から昭和9年に開田事業により拓かれた80haの地域に、平成27年度に戦略作物生産拡大基盤整備促進事業により改修された**「箱井堤ラバーダム」**は大沢川から取水して宿地区約30haにそれぞれ灌漑しています。

現在は県営「農地集積加速化基盤整備事業」を完了地区を含めた3地区（皆別当、三条川原、六合）で、また「基幹水利施設ストックマネジメント事業」を1地区（大野）で施工中です。これまでは地域性により畑作物は殆ど作付けされておりませんでしたが、ほ場整備事業等を契機に法人中心の担い手への農地集積も進み、地域の特性・特産を活かした水田の大区画化や汎用・畑地化を図り収益性の高い作物にも取り組んでいます。

▲②大滝沢ため池
▲三条川原地区ほ場整備後の団地化された営農状況
▲⑧箱井堤ラバーダム
▲大野揚水機φ500㎜
▲①明光沢ため池

「随想」――シリーズ㉙

三種町土地改良区
門間　亜希子

三種町土地改良区では、毎年十月中旬に国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として、ウォーキングイベントを開催しています。秋の行楽シーズン、他の市町村でもイベントが多い時期です。一般の方々に土地改良区の仕事がどんな役割をしているのか。排水機場の場所やその機能を広く知っていただく事を目的としています。六〇名の定員はすぐにいっぱいになり、ここ数年で参加人数が安定してきました。

一日の流れは、九時半までに受付をし、準備運動をします。そのあと五、八kmの中距離もしくは二、四kmの短距離のコースを選び、排水機場を目指してウォーキングをします。排水機場では、管理人がパネルを使って排水機場の機能をわかりやすく説明します。

このイベントの第二のお楽しみとして、豚汁とおにぎりが無料でふるまわれます。運動をした後にみなさんと一緒に外で食べるので、さらにおいしく感じていただけているようです。

令和元年度はあいにく雨天だったので、屋内でユニカールをやりました。参加者の多くは六〇歳以上で、ご夫婦やご友人と複数で参加してくださいます。毎回参加を楽しみにしてくださる常連さんも増えています。本年度も安全に考慮し、参加者の方々が楽しめるように準備したいと思います。

連合会日誌

4月15日	第１回正副会長会議	本会役員室
4月22日	山本支部全体会	能代市
4月23日	第１回監事会	本会第3会議室
4月23日	第１回理事会・役員会	本会第1会議室

今後の行事予定

4月24日	大館・北秋田支部全体会	北秋田市
4月24日	由利支部全体会	由利本荘市
4月24日	雄勝支部全体会	湯沢市
4月27日	鹿角支部全体会	鹿角市
5月14日	平鹿支部全体会	横手市
6月10日	農業農村整備の集い	東京都

市指定文化財「十王堂」

水土里レポーター：飯田川土地改良区　川上　丈樹

潟上市飯田川飯塚の十王堂には、市指定文化財「地獄絵図」および「木造十王像」が保管されており、春や秋のお彼岸の折にのみ公開されるので、近くにいてもめったに見学できるものではありません。

また、隣接する神明社には、国指定重要文化財「神明社観音堂」もありますので、一度ご覧になってみて下さい。

イベント告知　開催予定

水土里のゴミゼロDAY

5月29日（金）は「ゴミゼロ」の日！ みんなで農業水利施設のゴミを点検しましょう！

この運動は、農家の皆様の負担軽減、そして**「日本一綺麗な水で農作物を作ること」**を目的として県内8支部で一斉に農業水利施設周辺のクリーンアップ活動を行うものです。活動は新聞やＴＶ、ラジオなどのマスメディアを通じて水土里ネットの存在を広く一般の人に知ってもらうことにも繋がります。

水土里ネットの活動を多くの方に知ってもらうためにも、皆様のご協力をお願い致します!!

※開催につきましては、ＨＰ等でお知らせ致します。

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。

〇雄和中央土地改良区（R2.4.1）
　理事長　伊藤　洋文

〇秋田市豊岩中央土地改良区（R2.4.8）
　理事長　佐藤　由忠

事務所移転のお知らせ

飯田川土地改良区の事務所が移転しました。

〇移転先住所
　〒018－1502
　潟上市飯田川下虻川字八ツ口70番地
　（潟上市役所飯田川出張所内）

リレー感想文 vol.21

毎号、新鮮な情報ありがとうございます。

土地改良区でも広報や会議資料の作成の際には、写真や紙面構成など、いつも参考にさせていただいています。

仁井田堰土地改良区：事務局長
伊藤　清栄

編集後記

今回から「あきたのとちかいりょう」の編集に参加する事となりました。毎回、読者の皆さんが心待ちにするような、魅力ある広報誌づくりを目指していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年度末から新型コロナウイルスの影響が拡大してきています。秋田県の場合、大都市と比べて感染者数は少ないですが、油断をせずにうがい、手洗いなど私たちで出来る範囲で感染防止に努めていきましょう。今年はお花見や春のイベント、旅行など、自粛する方も多いと思いますが、私もGWは自宅でのんびりすごす予定です。　（広報・渉外班　南）

【発行所】　秋田県土地改良事業団体連合会　〒010－0967　秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018－888－2750(代)　FAX 018－888－2834
http://www.akita-midori.net/

（ISO9001：2015認証）
MSA-QS-3254　CM024